

## 平成29年度教育研究活動報告書

氏名	津村 怜花	所属	経済情報学部経済情報学科
学位	博士（経営学）	職位	准教授
専門分野	会計史、簿記、財務会計		
I 教育活動			
本年度担当科目			
	授業科目		
学部	簿記原理Ⅱ 会計学（会計学概論） 財務会計論 基礎演習		
大学院	簿記論特論		
II 研究活動			
これまでの主な研究業績（5件まで）			
〈著書〉 〈展覧会〉 〈論文〉 〈翻訳〉 〈学会発表〉 〈学術表彰〉 〈その他〉			
（1） 〈著書〉 『近代会計史入門』 2014年、同文館出版（共著）			
（2） 〈著書〉 『会計研究者として活躍する女性たち 輝ける未来へ向けて』 2018年、中央経済社（共著）			
（3） 〈論文〉 「『馬耳蘇氏記簿法』 および『馬耳蘇氏複式記簿法』 に関する一考察」 『日本簿記学会年報』 第25号、2010年（査読付き）（単著）			
（4） 〈論文〉 「森島修太郎にみるアメリカ簿記書の影響」 『日本簿記学会年報』 第30号、2015年（査読付き）（単著）			
（5） 〈論文〉 「福沢にみる西洋簿記現地化の試み」 『企業会計』 第68巻第3号、2016年（単著）			
本年度を含む過去3年間の研究業績			
〈著書〉 〈展覧会〉 〈論文〉 〈翻訳〉 〈学会発表〉 〈学術表彰〉 〈その他〉			
（1） 〈著書〉 『会計研究者として活躍する女性たち 輝ける未来へ向けて』 2018年、中央経済社（共著）			
（2） 〈論文〉 「日本的会計制度としての伝票会計システムの発生と展開」 『国民経済雑誌』 第214巻第2号、2016年（共著）			
（3） 〈論文〉 「国立銀行の設立と銀行簿記—シャンド・システム形成過程に関する一考察」 『日本簿記学会年報』 第31号、2016年（査読付き）（単著）			
（4） 〈論文〉 「福沢による西洋簿記現地化の試み」 『企業会計』 第68巻第3号、2016年（単著）			
（5） 〈研究報告書〉 「わが国女性会計学者の現状と課題」（日本会計研究学会スタディ・グループ最終報告書）、2016年（共著）			
（6） 〈研究報告書〉 「わが国女性会計学者の現状と課題」（日本会計研究学会スタディ・グループ中間報告書）、2015年（共著）			
（7） 〈論文〉 「森島修太郎にみるアメリカ簿記書の影響」 『日本簿記学会年報』 第30号、2015年（査読付き）（単著）			
（8） 〈その他〉 「日本における西洋簿記の発達史とは」 『企業会計』 第69巻第7号、2017年（単著）			
（9） 〈その他〉 「複式簿記の移転と社会文化的背景」 『企業会計』 第69巻第8号、2017年（単著）			
（10） 〈学会発表〉 「国立銀行の設立と『銀行簿記精法』」 日本簿記学会第31回全国大会、2015年（単独）			
（11） 〈学会発表〉 「わが国における女性会計学者の現状と課題」（スタディ・グループ中間報告）、日本会計研究学会第74回大会、2015年（共同）			
（12） 〈学会発表〉 「わが国における女性会計学者の現状と課題」（スタディ・グループ最終報告）、日本会計研究学会第75回大会、2016年（共同）			
現在の研究テーマ（3つまで）			
（1） わが国における西洋簿記導入過程の研究			
（2） 会計システムの機能に関する歴史的研究			
学会、所属団体における活動（本年度を含む過去3年間の研究業績）			
所属学会・所属団体 役職等			
日本簿記学会会員、日本会計研究学会会員、日本会計史学会財務担当幹事			
IV 社会活動			
1. 学外活動（本年度1年間の活動状況）			
（1） 日本会計史学会会員兼財務担当幹事			
（2） 日本簿記学会会員			
（3） 日本会計研究学会会員			